

## ▶ 私が提言した送迎保育ステーション事業が実現に向けて進んでいます！

西宮市の待機児童は平成29年4月1日時点で323人となっており、3年連続で増加となりました。また待機児童数の定義に含まれない育休中の方を含めた入所保留者数も830人となり、こちらも4年連続で増加しています。待機児童は改善されないどころか、年々状況が悪化しています。市は保育定員を3年間で1500人増やす計画を進めていますが、初年度となる29年の目標定員260人に対して、目処がたったのは189人となっており目標に遠く及びません。これは保育需要の高い地域や市の中心部では、保育用地として活用できる広さの土地が不足していることが大きな原因とされています。

平成29年7月4日の教育子ども常任委員会で、私が平成28年3月の一般質問で提言を行った送迎保育ステーション事業について、実施の方向で計画を進めるとの報告がありました。

そこで新たな手法として、旧高須東小学校跡地にパーク&ライド方式の保育施設を整備することに加えて、阪神西宮駅周辺に送迎保育ステーションと小規模保育施設を整備することが計画に盛り込まれました。

この送迎保育ステーション事業は1人でバスに

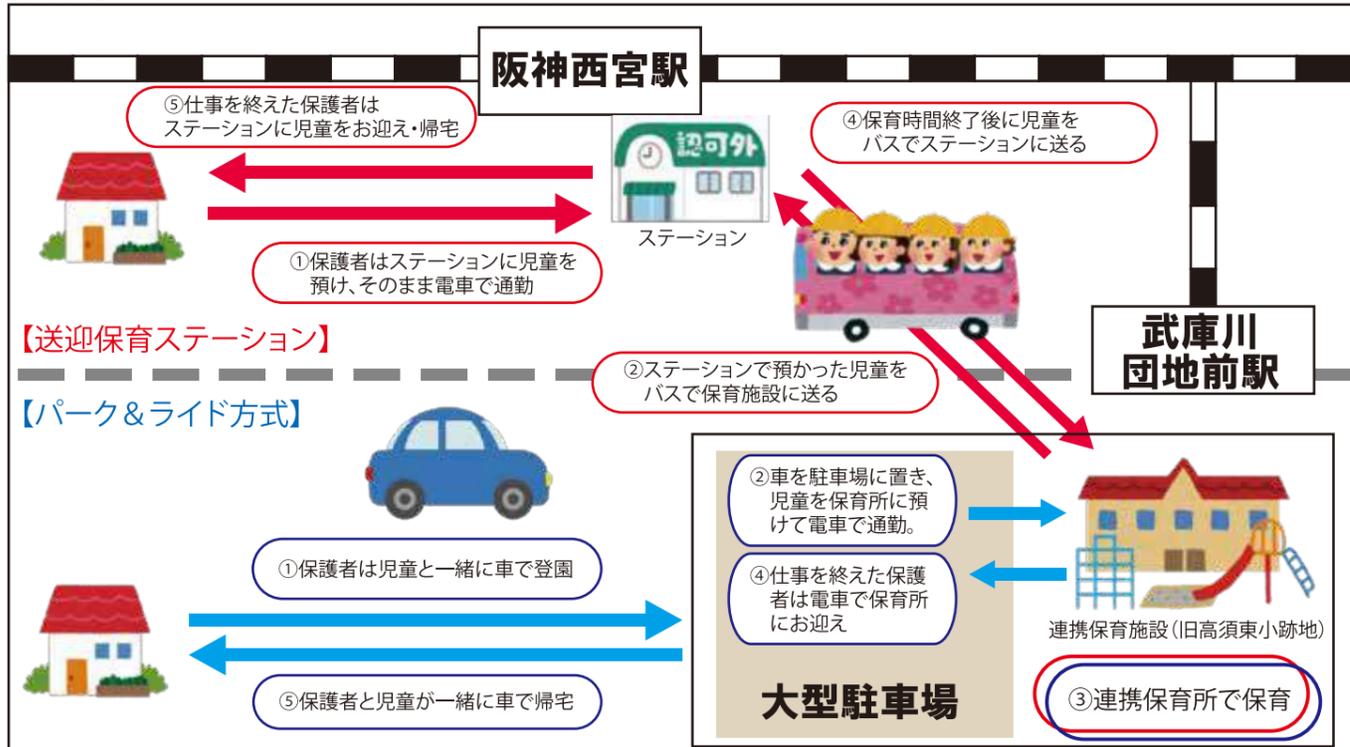
乗れる3歳以上の児童を対象としたもので、駅近くに設置されたステーション(送迎するこどもを一旦預かる施設)に保護者が児童を預け、そのまま電車で仕事場へ向かうことが可能です。一方児童たちは保育士が搭乗した専用車両に乗って、旧高須東小学校跡地に整備予定の連携施設まで送迎します。お迎えもステーションで行えることから、保護者の送迎負担を軽減できるのがこの事業の大きな特徴です。

旧高須東小学校跡地に整備される認可保育所の定員は120名ですが、送迎保育ステーション事業の定員は30名となります。また送迎保育ステーションには小規模保育施設も併設されることから、0歳から2歳の兄弟がいる保護者にとっても便利な事業となるほか、一時預かりの実施も予定しています。

今後のスケジュールとしては平成29年度中に事業者を募集し、開発に伴う協議を行ったのち、平成30年に工事を着工、31年4月に事業を開始します。

待機児童は働く保護者にとって死活問題です。市内には使われていない上下水処理場など、保育施設整備に有効な土地がまだ存在します。この事業はそうした土地の活用を可能にする取り組みです。今後も積極的に進めるよう市に働きかけて参ります。

### 【資料】パーク&ライド方式と送迎保育ステーション事業の仕組み



市政報告No.8 2017年7月 無所属 保守系 会派・ぜんしん 街の声を大切にする身近な政治を目指して 西宮市議会議員 ひとし はまぐち仁士

## ▶ ヒアリ(火蟻)と疑わしい個体を見つけたら市へご相談下さい！

今ニュースで取り上げられているヒアリ(火蟻)について、西宮市への影響等を確認しました。

中国・広州市の港から貨物船で運ばれたコンテナが、いったん神戸港に陸揚げされて5日ほど保管され、翌日に尼崎市で積み荷を取り出す際に内部でヒアリが発見されました。問題となったコンテナは神戸市に移動させて消毒を行っています。

神戸市から尼崎市の間、コンテナは陸路ではなく海上を通過しています。よって問題となっているコンテナの運搬中にヒアリが市内へ入り込んだ可能性は、現時点では殆ど無いと考えられます。環境省の報道発表によれば、万が一に備え、神戸市等と連携協力して、今回の確認地点を中心に規模を拡大した緊急調査を実施し、調査で確認された場合、速やかに防除を実施するとされています。

女王蟻は数キロ先まで飛行できる上に、繁殖力も強いので、早い段階で確実に死滅させることが重要

＜お詫びと修正＞  
赤枠の内容については市からの情報が誤りであり、実際はコンテナが西宮市内の陸路を通過していたことがわかりました。西宮市に対して、今後西宮市内においてヒアリの確認があった場合、速やかに対策できる準備を進めるよう要望しております。お詫びして訂正いたします。



写真提供:西宮市環境局

【ヒアリの特徴】赤茶色の比較的大きめなアリ。体長およそ2.5mm~6mmの大きさ。【刺された場合】刺された直後20~30分程度は安静にしてください。その際、体調に変化がないか注意してください。容体が急変した時は救急車を要請するなど、すぐに医療機関を受診してください。【駆除方法】固体は、市販のアリ用殺虫剤で駆除が可能です。

です。現在のところ西宮市ではヒアリは確認されていませんが、もしヒアリに似た昆虫を見つけた場合は絶対に触れず、下記へご連絡下さい。

◆近畿地方環境事務所 野生生物課 直通:06-4792-0706  
◆西宮市役所 環境学習都市推進課 甲子園浜自然環境センター 0798-49-6401

＜プロフィール＞1972年6月西宮生まれ。既婚2児の父。市立大社幼稚園、市立苦楽園小学校、市立苦楽園中学校、兵庫県立西宮甲山高等学校卒業。16年間の飲食店経営を経て2015年4月に行われた西宮市議会議員選挙にて1983名からのご信託を頂き初当選。 TEL:090-8167-8136 Mail:h.hamaguchi0602@gmail.com

http://goo.gl/pEHp1 http://h-hamaguchi.com/ はまぐち仁士 検索

【表紙デザイン】＜タイトル＞夏の散歩 ＜作者＞ yamyam  
＜プロフィール＞大阪生まれのイラストレーター。子供服の企画会社で図案作家として勤務後2008年に独立。リズムカルな線画を得意とし、雑誌や書籍・メディアを中心に活動している。最近では店舗のビジュアルや壁画なども手がける。大好きな動物をモチーフとし描くことが多い。＜公式HP＞http://yamyamkikaku.com

\*表紙デザインは西宮市の文化振興を目的に、西宮ゆかりのアーティストが絵を描いています。 発行者:西宮市議会議員 はまぐち仁士

## 市直営で実施する防犯カメラの設置場所検討会が始まります！

地域防犯へのさらなる支援と地域の負担軽減を図るため、平成29年度より市は直営による防犯カメラ設置事業を実施します。事業の概要は

- ・平成29年度は市内約100台を上限として設置する
- ・小学校区ごとに設置場所を選定する

となっており、設置されたカメラは市が一元管理を行います。また録画された映像は警察への提供に限定され、具体的な捜査のためにのみ活用します。

今後設置に向けた取り組みとして、7月から8月上旬にかけて、市は地域説明会で示した警察からの提案による設置候補地を提示します。7月中に市ホームページでこの提案について意見を募集し、8月下旬には小学校区ごとに設置場所検討会を開催します。この検討会で出た要望を参考に、市と警察が協議を行い、最終的な設置場所を決定します。しかし設置場所については

- ・防犯カメラの設置目的がこどもの安全であれば設置場所を学校や青愛協等から聴取すべき
- ・警察からの提案には理由が明記されていないので検討ができない

## 犬や猫など不要な殺処分は可能な限り減らしていくべきです！

西宮市では過去5年間でおよそ25,000頭の犬がペットとして登録されており、その数は微増傾向にあります。一方猫もペットとして広く飼われていますが、予防接種の必要性から登録制となっている犬と違って、猫は数の把握ができません。

過去5年間における犬の登録頭数推移（平成28年度は概数）

平成24	平成25	平成26	平成27	平成28
24564	24904	24961	24945	25103
	340	57	-16	158

下の表は本市における犬や猫の過去5年間の殺処分数を表したものです。犬は5頭以下で推移しており、猫は平成24年は126匹だったのが減少傾向となり、平成28年には37匹となっています。

過去5年間における犬・猫の殺処分数（平成28年度は概数）

種別	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28
犬	4	3	5	0	3
猫	126	111	93	25	37

猫の殺処分数が減少している背景に、地域猫の活動があります。この活動は飼い主に捨てられた等により、地域に生息する猫を保健所に持ち込んで殺処分するのではなく、地域のボランティアによって

など課題もあり、4月26日から5月19日の期間で事前に開催された地域説明会でも、地域の方々から同様のご意見が出されました。こうした意見を踏まえながら、効果的に防犯カメラを設置することが望ましいことから、市に対して働きかけを行っています。

一方でもっと多くの防犯カメラを設置して欲しいというご意見もお聞きします。伊丹市では市内全域に計1,000台の防犯カメラを設置する方針を打ち出しておりますが、設置費用は平成27年度の決算見込みでおよそ3億3,000円、維持費は2,700万円となっており、設置台数が増えれば費用も増加します。

防犯カメラにおける犯罪抑止効果については様々な意見があります。この課題について防犯カメラを所管する民政常任委員会の提言書では、『本市の防犯カメラ設置事業は物量重視ではない。効果・必然性から検討されるべき』と結論付けました。どれだけ防犯カメラを設置すべきかという課題については、費用対効果をしっかりと検証しながら慎重に進めるべきだと考えます。今後も防犯カメラ設置事業について注視して参ります。

不妊手術を行い、そのまま生息する地域で命を全うさせるというものです。不妊処置を施すことによって繁殖を抑え、命を全うさせる行為は動物愛護の観点からすれば適切かもしれません。しかし地域住人の中には、こうした猫によるし尿によって迷惑を被る方もいることを考えれば、根本的な問題の解決が必要です。また地域猫の活動目的は、将来的に飼い主のいない猫をなくしていくことです。すなわち、対象となる猫が減ることによって初めて地域猫活動の効果が認められることとなります。

飼い主がいない猫が増える要因として

- ・無責任な飼い主によって捨てられた
- ・飼い主が逃がしてしまった

などが推測できます。

飼い主がいない猫を増やさない対策として、飼い主が捨てない為の啓発や所有者明示の推進、不妊手術の実施や適正管理、販売業者への適正指導も重要です。犬や猫などのペットを、人間の都合で捨てることや殺処分することはあまりにも身勝手な行為です。今後は不要な殺処分が増えないよう、効果的な対策について調査・研究をして参ります。

## 芦屋市とのゴミ処理広域化について検討する会議が始まりました。

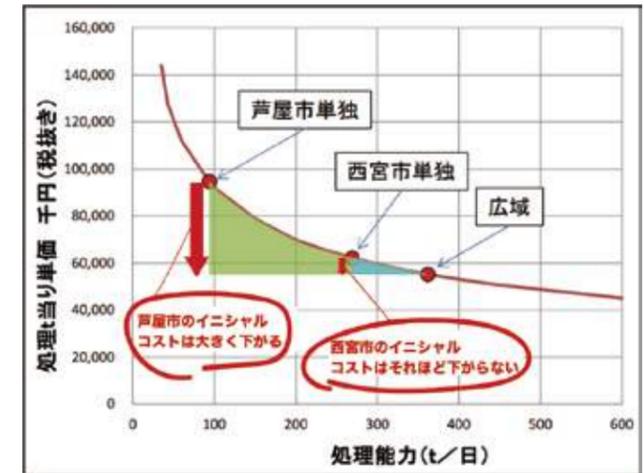
現在西宮市と芦屋市との間で、ごみ処理広域化について検討が進められています。ごみの広域化とは、複数の市町村が共同で一般廃棄物の処理を行うというものです。ごみ処理施設を集約することで整備費や維持・管理コストの削減が可能となるほか、環境への負荷を抑制できるなどのメリットが期待できます。この広域化を議論する上で

- ①西宮市のメリットはどの程度なのか？
- ②西宮市・芦屋市どちらに広域処理施設を整備するのか？
- ③広域処理を行うための組織はどうあるべきなのか？
- ④芦屋市・西宮市それぞれの費用負担をどのように考えるのか？

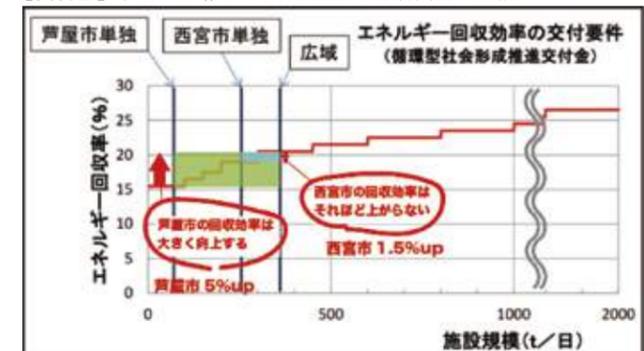
などを検討する必要があります。

資料1のグラフは芦屋市・西宮市が単独で焼却施設を整備した場合と、広域によって整備した場合の処理トン当たりの建設単価の変動を表したものです。この表を見れば広域化を進めることで芦屋市は単独整備より建設費が大きく下がりますが、西宮市はそれほど下がりにくいです。

【資料1】単独・広域それぞれにおける処理トン当たりの建設単価の比較



【資料2】単独・広域それぞれにおける環境負荷の比較



資料2はエネルギー回収効率をグラフ化したものです。こちらも芦屋市は単独整備よりエネルギー

（注2）エネルギー回収効率：熱を蒸気に変換して蒸気タービンで発電するほか、温水を温浴施設等（風呂やプール）で利用することなど、ゴミを処理する際に発生する熱を活用して新たなエネルギーを回収する効果を数値化したもの。焼却施設の規模が大きくなるほど、回収率は高くなる。

回収効率が5%上がり、高い効果が見込めますが、西宮市は1.5%程度となっており、効果はそれほど高くありません。広域化を進めることで、芦屋市のメリットは西宮市よりも圧倒的に高いことがわかります。

一方広域化によって解決できる課題もあります。それは災害廃棄物仮置場の確保です。22年前に発生した阪神淡路大震災では、甲子園浜にある空き地を仮置場として活用しました。これによって生活基盤の高いところから優先に瓦礫を撤去することが可能となり、復興へ大きく進むことができました。しかし現在甲子園浜の空き地には公共施設が整備されており、災害廃棄物仮置場として活用できません。また阪神淡路大震災時は瓦礫を20mまで積みあげて



いました。しかし平成26年に環境省が瓦礫の積上げ高さの目安を5m以下と示したことから、現在は南海トラフ地震や上町断層帯による震災が発生した場合に必要なことが予想される仮置場が不足しています。ごみ処理の広域化では、施設集約化で一方の市のごみ処理施設が不要となることから、廃止する処理施設の跡地は両市が共同で利用できる災害廃棄物仮置場として活用すべきです。

その他にも西宮市と芦屋市とのごみ分別・収集区分の統一化や、広域処理施設を運営する組織のあり方など検討すべき事項はありますが、これらを含めた協議を今後行った上で、今年の11月までに芦屋市との広域化を進めるかどうかの判断を行います。

広域化を進めるのであれば、西宮市が現状と比較してどれだけ多くの恩恵を受けられるのかが重要です。今後は協議の進捗を注視しながら、西宮市にとって最大のメリットを得られるよう市に対して提言を行って参ります。